

第4回“ひとのわ”の参加者から「やってみたいこと！」として沢山のアイデアがでていたものを6つに分類し、今回のグループワークで、さらに深掘りしました。

①「娯楽・体験事業」グループ

■ 持ち寄りパーティー

- 衛生的な問題や保健所の許可が課題。

■ 映画鑑賞

- 実施への関心は高いが、予算が最大の課題。
- ミュージアムのスクリーン付き部屋の活用や、プロジェクターなどの設備が必要。

■ キャンプ

- テント泊ではなく、デイキャンプが現実的。
- 火起こしや調理、片付けなどの体験型活動を提案。
- 季節を問わない餅つきのアイデアも。

■ 防災関連の提案

- 除雪機や発電機の使い方講習会を提案。
- 体験活動が防災スキル習得につながる。

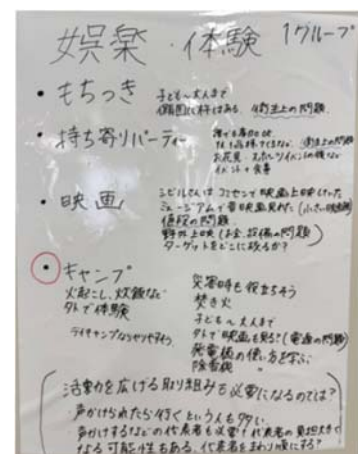
■ 活動負担の軽減

- リーダーの負担が大きい点を課題視。
- 代表者の役割交代や、協力者の確保が重要。

全体を通して、体験型の活動や防災教育への興味が高く、負担軽減の仕組みが求められている。

グループワークでは、様々な娯楽・体験事業について、話し合わせ、課題も検討されていました。

結果、第1候補としては、「デイキャンプで餅つき」が意見として発表がありました。



②「地域交流・スポーツ振興事業」グループ

2つのアイデアについて議論されました。



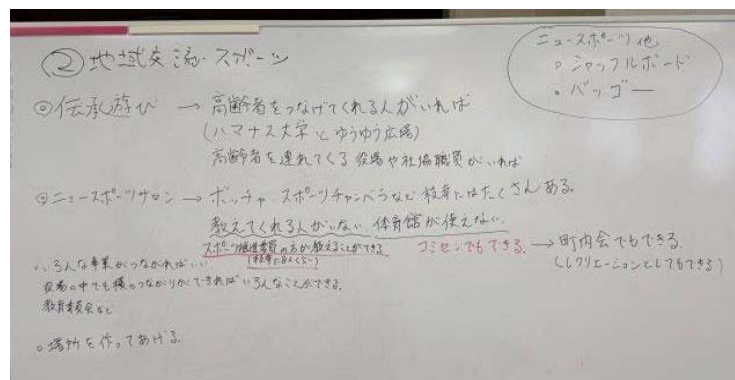
1. 伝承遊びの復活

- 過去にハマナス大学が行っていた伝承遊びを高齢者と若い世代と一緒に楽しむ場を再び作る提案。
- 実現のためには、役場や地域の教育機関と連携し、指導者を確保することが必要。
- 高齢者が子供たちに伝統的な遊びを教えることで、世代間交流が促進される。

2. ニュースポーツサロンの運営

- ボッチャやスポーツチャンバラなど、手軽で誰でも参加できるスポーツを地域で推進。
- 場所の確保や教える人材の不足が課題であり、町内会や役場の支援を活用する。
- 子供から高齢者まで一緒に楽しめるイベント形式で、交流を深める。
- 社会教育委員会や地域団体と協力し、地域全体の健康促進に繋げたい。

これまでの活動を再開させ、地域の強みを活かしながら新たな交流を生み出すアイデアに注力していました。



やってみたいこと！

- ・ 伝承遊びの復活
- ・ ニュースポーツサロンの運営

③ 「居場所づくり」

④ 「環境美化事業」

⑥ 「地域力向上事業」

※複数の分類についてグループワーク

主に2つの活動案が提案されました。



1. 孫シェア活動

- 子供と母親、そして高齢者が一緒に交流する場を設けることで、世代間の交流を促進し、地域の雰囲気をよくすることを目指す。
- 今と昔の子育ての違いを共有し合うことで、相互理解を深めることができる。
- 具体的な取り組みとして、スマートフォン相談会を高齢者だけではなく、母親世代や子供たちも参加できる形にすることで、幅広い世代間の交流を促進できる。

2. ゴミ拾い活動

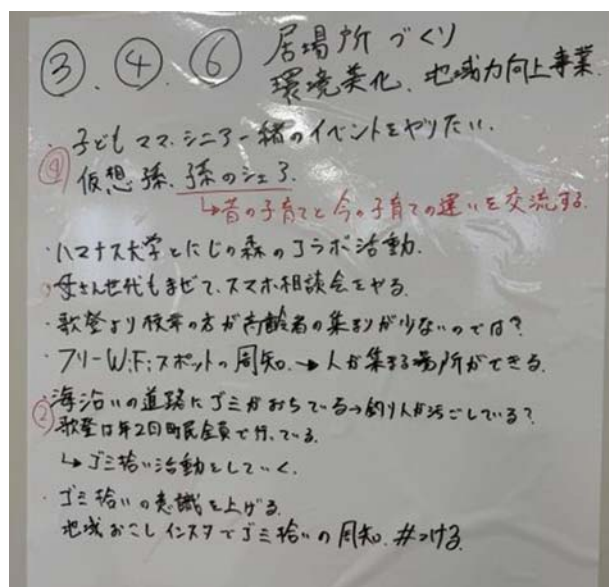
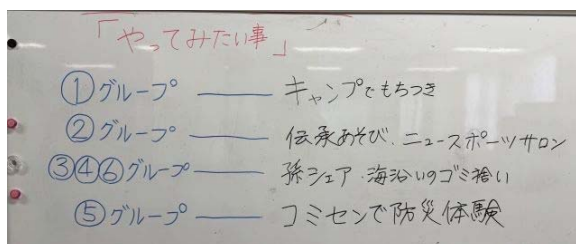
- 地域内のゴミ問題に対処するため、ゴミ拾い活動を実施することを提案。
- 活動後には、拾ったゴミの内容や量をSNS（例：Instagram）で共有することで、地域住民の環境意識を高めることができる。
- 情報発信により、ゴミ問題への関心を喚起し、地域全体での環境美化活動の活性化が期待できる。

これらの活動を通じて、世代間の交流や地域の環境美化を推進し、地域全体の活性化を図ることを目指します。

グループワークでは、様々な世代の交流やゴミ拾い活動について、話し合われました。

①孫シェア事業

②海沿いのゴミ拾い



⑤ 「防災事業」グループ

災害に備える地域活動について議論されました。



1. 防災体験イベントの提案

- 防災訓練を実施するアイデアが中心。
- 具体案
 - ・各家庭の防災グッズを持ち寄り、コミュニティセンターで宿泊訓練を行う。
 - ・町から毛布や非常食、防災用照明を借りて使用。
 - ・冬と夏の条件に応じた訓練を計画。
- 初年度は簡単な体験から始め、徐々にレベルを上げて数年かけて継続的に実施。

2. 基礎知識の普及

- 避難場所と避難所の違いなど、基本的な防災知識を学ぶための勉強会を事前に開催。
- 住民の理解を深める基盤を作れるのではないかと。

3. 実績の再現

- 30年前に行われた津波避難訓練（避難場所への移動、防災グッズの紹介、非常食の試食体験など）を参考に、現代版として復活させる。

4. 母体組織の必要性

- 訓練をスムーズに実施するため、社会福祉協議会などの母体となる組織の協力が必要。
- 長期的な視点で地域全体を巻き込む形の訓練を目指す。

防災意識を高めるための具体的な活動案を提示し、地域全体で災害対策を進めるための土台作りに注力していました。

グループワークでは、防災意識向上について、様々な話し合いが行われました。

コミセンで防災体験

